

All Together

JKDGC Newsletter

Vol. 02

— April 2023 —



検体収集状況



ご協力ありがとうございます！

●川崎病遺伝コンソーシアム (JKDGC) 研究事務局●

国立成育医療研究センター 臨床研究センター データサイエンス部門
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1

E-mail jkdgcoffice@gmail.com

★ホームページ・Twitterもぜひ、ご活用ください！

<https://jkdgc.jp>



News & Topics

★ JKDGC 事務局メンバーのご紹介

新年度あらためまして、ご参加いただいている先生方にご連絡を差し上げる機会が多いメンバーを紹介いたします。

国立成育医療研究センター

研究代表・事務局 小林 徹（研究代表として、運営・総括をしています。）
データ管理担当 清家 美和子（臨床情報記入用紙の収集、臨床データの管理業務を担当しています）
事務局 小林 しのぶ（各種申請や手続きに関する事務局業務を担当しています）

よろしく
お願いします！



千葉大学大学院医学研究院

事務局分局 尾内 善広（運営および、DNAサンプルの管理を行っています）
座間 奈美江（SRLからDNAサンプルを受領し、先生方へ受領のご連絡をしています）

★ JKDGC リレーコラム

本プロジェクトにご参加いただいている先生方をリレー形式でご紹介していく「リレーコラム」をスタートします！
初回は、JKDGC研究代表の小林徹から、スタートします！

川崎病遺伝コンソーシアムにご協力いただいている皆様、本当にありがとうございます。今回は「遺伝子」という「個性の違い」が「病気の治療」にどのように結びつか、一例をご紹介したいと思います。

肺がんの場合、細胞表面にある細胞増殖を司るEGFR（上皮成長因子受容体）タンパク質に異常が認められることが多いため、EGFRをターゲットにした分子標的薬が開発された例が挙げられます。イレッサ（ゲフィチニブ）と言う分子標的薬は、EGFR陽性の肺がんには治療効果がありますが、陰性の肺がんには治療効果があまりありません。そのため、肺がん治療で分子標的薬の使用を検討する際は、EGFR遺伝子変異の有無を事前に調べます。

このような個別化医療のために使われる診断薬のことを「コンパニオン診断薬」といいます。川崎病遺伝コンソーシアムは、研究によって得られた結果をコンパニオン診断薬の開発から個別化医療の実現を目指して活動をしています。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

★ 検体収集と提出方法

これまで、多くの先生方に検体収集にご協力いただきました。まだ、検体収集をされていない先生方に向け、今一度、手順についてご説明いたします。

STEP 0：実施許可の取得

- 各施設において、施設長の研究実施許可を取得していることが、前提となります。
- 研究実施許可を取得していない場合は、中央一括審査で承認を受けた倫理書類一式を用い、貴施設の施設長の研究実施許可を取得してください。



STEP 1：ご家族への説明・同意の取得

- ご家族への説明と同意の取得は、各先生方の方でお願いします。
倫理審査委員会（中央一括審査）で承認された説明同意文書を用いて、ご家族への説明をお願いします。
（説明の補助として、パンフレットやJKDGCホームページに掲載された動画をご活用ください！）
- 同意をいただいた患者さんに、謝礼品（くまさんキーホルダー）を進呈してください。



STEP 2：採血

- EDTA 2 Naスピッツにて血液を2~3ml採取します。
- 匿名化専用依頼書に添付された匿名化符号シールをスピッツに貼付します。
- 匿名化符号照合用紙に匿名化符号を転記してください。
- 匿名化専用依頼書とスピッツをSRLに送付してください。



SRL

DNA抽出



千葉大学

STEP 3：臨床情報記入用紙記入・提出

- 臨床情報記入用紙に必要な事項を記入します。
- データセンターに送付します (FAXまたは、e-mail)。
- 記入済み臨床情報記入用紙は、匿名化符号照合用紙と一緒に各施設にて専用ファイルにて鍵付きキャビネットにて保管してください。



E-mail
FAX



データセンター
(成育内)

匿名化伝票やキーホルダーがない場合、ご不明な点等ございましたら、事務局までお問い合わせください！

